



↑平成27年の土砂災害と28年の台風16号で甚大な被害を受けた深港川。磯脇橋は仮橋がかかり、懸命な復旧作業が今も続いています。



深港 復興会

FUKAMINATO SHINKOU-KAI

由緒ある飯牟礼神社を有する、おだやかなまち

飯牟礼神社は、深港・二川・上ノ原三集落の氏神様として長年親しまれています。その昔、島津氏久が戦いに敗れ、飯牟礼山を通り命からがら逃げてきました。その際に、山の祠の土を紙に包み、深港までくだり、お宮にその包みを供え、武運長久を



祈願し、船で鹿児島へ渡りました。その十三年後の応安三年（1370）、お宮を飯牟礼神社として創建し、島津氏の守護神にしたといわれています。また、明治四十四年、上ノ原にあった神子密神社がこの神社に合祀されました。

飯牟礼神社の言い伝え

飯牟礼神社の西方の海上からおよそ一里（約4km）の所の海中に竜宮があるといわれています。もともとは海上に島として残っていたものが陥没したといわれ、その竜宮が飯牟礼神社だという説もあります。定かではありません。



↑二川にあるピワ園を借り受け、牛根小の児童が一生懸命ピワを育てています。（写真は、摘蕾作業の様子）



二川 復興会

FUTAGAWA SHINKOU-KAI

牛根小学校を中心に、文化が根付くまち

二川の石塔（アッカーサー）西宝寺幼稚園の隣に石塔群があります。かつてこの近くに秋葉神社（秋葉様IIアッカーサー）がありました。神社の祭神である不動明王が現在も安置されており、その隣には馬頭観音の石像があります。これは二川集落の先祖が嘉永四年（1851）に献納したものです。六地藏塔は、肝付氏と島津氏の戦いによる戦死者を祭る供養塔として立てられました。招魂墓



→西宝寺幼稚園隣の石塔群



→西宝寺境内にある慰霊碑

→水神様

は、明治丁丑（もしん）戦争の戦死者と参加者の供養墓です。松崎川下流の右岸の土堤に、水神様の祠があります。松崎川は、古くは川の下流が二つに分かれて中洲があり、二つの川があることから二川の地名が生まれたともいわれています。大雨のとき、川が氾濫し、川付近の畑の被害が甚大だったため、昭和初期に耕地整理されました。

二川六月灯

平成二十八年度、約二十五年ぶりに再開した二川の六月灯。当日は、集落内外から多くの人でにぎわい、歌や踊りに酔いしれます。地区の壮青年部や婦人部が愛情いっぱい焼きそば、カキ氷、ポップコーンなどを振る舞い、子どもから大人まで時間を忘れて楽しめます。

